

平成27年度 栃木県立足利高等学校 学校評価(アンケート結果)

評価対象	具体的な評価項目	アンケート結果						考察 及び 次年度に向けて	学校評議員評価 (感想・意見・評価)	
		教員	1年	2年	3年	全体	保護者			
学力の向上	1 生徒の学力向上に向け、意欲的かつ計画的にきめ細かな指導を行っているか。 生徒:学習全般に対して達成感・満足感を持っているか。 保護者:全般についての取り組みをどのように感じているか。	A	B	B	B	B	A	・生徒が達成感、満足感を持てるよう、さらなる工夫が必要である。 ①「わかる・できた」の積み重ねと、演習時間の確保、生徒自ら意欲的に学習に向かうことの出来る指導の工夫を図る。 ②ICT機器を活用するなど、生徒が主体的に学び合う授業作りを推進する。	・「家庭学習に関する評価」に教員と生徒のギャップがある。評価に関して検討が必要。 ・学習時間で評価するのではなく、内容・密度ではかる工夫が大切。生徒の意識改革が必要である。 ・平成28年度高校入試結果の検証を進めてほしい。 ・足利高校は様々なことに取り組んでいて、生徒を伸ばしている。生徒の伸び率をアピールしてほしい。 ・ICTの活用は学習の入り口・動機付けに過ぎない。深い思考に結びつく活用をお願いしたい。 ・保護者の視点を意識してPRしたり、保護者にも参画してもらえると学校に対する理解が深まる。	
	2 生徒の興味・関心・意欲を喚起しながら、学力の定着に向け、様々な工夫をした授業を心がけているか。 生徒・保護者:全体として、授業内容に満足しているか。	A	A	A	A	A	A	・授業に対する満足度は高い。 ①アクティブラーニングを取り入れた授業展開を心懸ける。 ②授業研究会や教科内研究を充実させ、効果的な指導方法の継続的な工夫・改善を図る。		
	3 生徒の家庭学習時間が増え、定着するよう工夫した指導を実践しているか。 生徒・保護者:計画的な家庭学習ができていますか。	A	C	B	B	B	B	・計画的な家庭学習をさせるための工夫は、重要な課題である。 ①効率的な学習方法の指導を継続し、密度の濃い家庭学習をさせる。 ②担任面談の時間を確保する。		
	4 生徒の実態や課題に応じて、学力を向上させるために、積極的に取り組んでいるか。 生徒:生徒の実態に応じて学力を向上させる取り組みに満足しているか。 保護者:効果的な取り組みを行っているか	A	A	A	A	A	A	・学力向上のための方策に対する満足度は高いが、実態や課題を検証し続ける。 ①1年次の選抜クラスについての検証を継続する。 ②習熟度別授業、類型クラスの在り方について引き続き検討する。		
	5 長期休業中の課外や土曜補習の成果が上がるよう、様々な工夫をして取り組んでいるか。 生徒:全体的に満足しているか。 保護者:効果があるか。	A	A	A	A	A	A	・各学年担任と進路指導部で情報交換を図り、組織的に取り組んでいく。 ①教科内で課外の実施方法や教材、内容等を研究する。 ②苦手克服、難問対策、中間層の引き上げ等、必要なテーマに合わせた課外や補習を設定する。		
進路指導の充実	6 生徒の適性や希望などを十分に把握しながら、適切な進路指導を実践しているか。 生徒・保護者:主体的な進路選択をする上で、本校の進路に関する援助に満足しているか。	A	A	A	A	A	B	・生徒からの評価は高いので、更にキャリア教育を工夫・充実させていく。保護者に対しては、保護者会やホームページ等を通じて進路情報を発信していく機会を増やす。 ①職業進路講演会や大学出前講義、卒業生体験発表会、大学訪問等の発展・充実を図り、進路研究に積極的に取り組ませる。 ②各学年に応じた進路情報を、様々な機会を通じて保護者に提供する。	・SSHに関しては、さらにプログラムを検討し、比較・応用・発展させ、自分たちの中で研究を消化させていくと良い。	
	7 部活動を通じた人づくりにむけ、積極的な指導を実践しているか。 生徒:部・同好会活動について、積極的に参加しているか。 保護者:部活動・同好会に対する学校の取り組みをどう思うか。	A	A	A	A	A	A	・部活動に対しての参加状況は積極的で、取り組みに対する評価は高い。 ①部活動を通じた人づくりを推進していくために、効率的な時間の使い方を研究する。 ②顧問会議等で、安全な部活動指導ができるよう研修会を実施し、生徒や保護者へも情報を提供する。		
		8 生徒が学校行事や生徒会行事には積極的に参加し、充実感を友人とともに共有できるよう積極的に指導しているか。 生徒:満足しているか。 保護者:子息の満足度はどうか。	A	A	A	A	A	A		・学校行事や生徒会行事への満足度は高い。 ①生徒の活動がより活発になるよう、行事日程や内容など、さらに検討を加える。 ②ホームページに学校行事等を公開し、保護者や地域に生徒の活動の様子を発信していく。
総括的評価	9 生徒が充実した学校生活を送れるよう、適切な指導・援助を実践しているか。 生徒:現在の足高での学校生活に満足しているか。 保護者:本校に入学させて良かったと思っているか。	A	A	A	A	A	A	・全体的に高い評価をいただいている。 ①人権教育や主権者教育を計画的に行い、公民的資質の向上を図る。 ②各部(生徒・学習・進路・特別活動指導)の連携を図り、生徒個々の伸長に目を向けた教育活動を充実させる。	・SSHでの英語での発表は、海外を意識した広い視野での学力、環境適応能力、コミュニケーション能力を向上させるので良い。 ・目先の結果だけでなく、10年後、30年後どうなっているかが大事で、足高での経験が評価される。人間造りをお願いしたい。	
	連携 教育相談 生徒指導	10 保護者との連携に努めているか。 保護者:教職員との連携に満足しているか。	A	/	/	/	/	A		・保護者との連携に努め、個に合った指導ができるようにする。 ①電話等での連絡や学級懇談、保護者面談等を通じて情報交換を密に行い、連携を深める。
		11 生徒が相談しやすい雰囲気作りができていますか。 生徒:相談しやすい雰囲気があるか。	/	A	A	A	A	/		・生徒が相談しやすい雰囲気作りに努める。 ①面接週間や担任に限らず、生徒の必要に応じて対応できる体制を作る。
12 マナーや規範意識を育む指導ができていますか。		/	/	/	/	/	A	・保護者との共通理解や連携のもとに、マナーや規範意識を育む指導を推進する。 ①交通マナーやスマートフォン等の使用をはじめ、学校生活全般で適切な振る舞いができるように指導を継続する。		

評価基準	生徒・保護者 アンケート下の①②合計の回答率	教員 アンケート下の①②合計の回答率	*アンケート結果のアルファベットは次の通り。 上段:平成27年度(大文字) 中段:平成26年度(小文字) 下段:平成25年度(小文字)
	70%以上 A (十分に成果があった) 50%以上70%未満 B (成果があった) 30%以上50%未満 C (少し成果があった) 30%未満 D (成果がなかった)	80%以上 A (十分努力している) 60%以上80%未満 B (努力している) 40%以上60%未満 C (あまり努力していない) 40%未満 D (努力していない)	

*評価対象「連携・教育相談・生徒指導」の10～12の項目は、平成26年度からの設問なので、下段の小文字はありません。